

3 教育課程

小・中・高・特別支援学校においては、三つの重点目標①基礎・基本の確実な定着を図り、伸びる力を一層伸ばす「分かる授業」②子どもたちのよさと可能性を引き出す「魅力ある教育課程」③子ども・保護者・地域と共に創る「楽しい学校」の実現に向けて、各校の実情に応じた改善を図ってきた。

本年度は、各学校における特色ある教育課程の編成と学習指導の改善充実について、実践を通して、更に研究を深めてきた。

また、児童生徒一人ひとりに確かな学力の定着と伸長を図るため、向学の気風に満ちた学校づくりを推進する中で、教育課程、学習指導の改善充実が図れるよう、資料を提供するとともに、あらゆる場と機会を通じて指導、助言に努めてきた。

(1) 小・中学校教育課程研究協議会

豊かな心を持ち、たくましく生きる人間の育成を目指して、児童生徒を中心にすえた教育課程・学習指導の改善を図るために、上記①～③の三つの重点目標に立って、具体的授業実践をもとにした教育課程の編成及び実施、評価にかかわる研究協議を行い、改善と教職員の資質の向上に努めてきた。

県下小・中学校全教員を対象として、市町村教育委員会、郡市校長会、県教育委員会の三者共催各郡市単位で研究協議会を実施した。

ア 全県委員会

① 組織 委員長：学びの改革支援課長

副委員長：県小中校長会（1名）、市町村教委代表者（1名）

委員：県小中校長会（1名）、各郡市校長会（15名）、市町村教委（1名）

教育事務所学校教育課長（所長）（5名）、教育センター教科教育部長（1名）

学びの改革支援課義務教育指導係長（1名）、義務教育課支援幹（1名）

主任指導主事（3名）

② 開催日数 2回（4月23日、11月21日）

③ 研究協議会

小・中学校教育課程研究協議会の基本方針の検討及び研究協議会の運営計画の反省と来年度の計画

イ 研究協議会

① 期日・会場・参加人員等

a 小学校 9月5日～10月18日の間の1日 120会場 6,226人

b 中学校 9月5日～10月18日の間の1日 79会場 4,266人

※長野上水内地区は台風19号の災害により中止。

- c 分科会は、国語・社会・算数（数学）・理科・生活・音楽・図画工作（美術）・体育（保健体育）・家庭（技術・家庭）・外国語活動・英語・道徳・特別活動・総合的な学習の時間の3～21の分科会のほかに、郡市によっては、特別支援教育・人権教育・健康教育・キャリア教育の分科会を加えた。

② 研究協議題

- a 授業研究を通しての研究協議
- b 学習指導要領の実施に伴う諸問題及び課題に関わる研究協議

（2） 高等学校教育課程研究委員会・研究協議会

新しい高等学校学習指導要領に基づく教育課程編成の方法、各教科・科目の指導内容、指導方法、観点別評価や総合的な学習（探究）の時間及び特別活動について研究し、その成果を冊子にまとめて各校に配布した。

ア 研究委員会

- ① 委 員 各教科等 16 分科会 61 名
- ② 研究内容 第 1 回 研究の趣旨・分科会の進め方について協議
第 2 回～第 5 回 各分科会における研究

イ 研究協議会

- ① 期日・会場・参加人数
北信地区 9月19・20日 長野市生涯学習センター
東信地区 9月12・13日 佐久平交流センター
南信地区 9月5・6日 伊那市生涯学習センター
中信地区 9月9・10日 長野県総合教育センター
参加者は全体で約1,200人
- ② 部会
①国語 ②地理歴史・公民 ③数学 ④理科 ⑤保健体育 ⑥美術・工芸 ⑦外国語
⑧家庭 ⑨情報 ⑩農業 ⑪工業 ⑫商業 ⑬福祉 ⑭総則・特別活動 ⑮音楽
⑯書道
- ③ 参加者
公・私立高校教諭